３月定例会が閉会しましたので、ご報告します。

戸田の会 真木大輔（まきだいすけ）

戸田市議会の2月臨時会、および3月定例会が閉会しました。2月臨時会では主に議長、副議長などの役職や、委員会などの所属が決まり、3月定例会においては予算案を始めとする57個の議案がすべて可決されました。

今回の議会は私にとって初めての議会であり、開会から閉会まで終始、議会の手順や慣習に倣うことに精一杯な面がありましたが、一方で多くの学びを得ることができました。

次回の議会ではより多くの市政向上に資する発言を残せるよう、今後も引き続き政策調査や市民のみなさんとの対話を行っていきます。

この「真木レポート」では、私の議会活動報告をメインにしながら、みなさんに議会自体をより知っていただけるよう、議会のしくみなどの説明もあわせて行なっていきたいと考えています。

これからの4年間、どうぞよろしくお願いいたします。

若手議員４名で新会派「戸田の会」を結成しました。

戸田市議会の若手議員4名、酒井郁郎議員（38歳・無所属・会派代表）、真木大輔（31歳・無所属）、金野桃子議員（30歳・無所属）、中山祐介議員（27歳・みんなの党）は、このたび新しい会派「戸田の会」を結成しました。

さっそく3月定例会では、戸田の会として酒井議員が総括質問を、金野議員が討論を行いました。

“しがらみを持たず、政策を重視し、市民とのコミュニケーションを大切にする”会派として、多くの方々から頂いた信頼に応えられるよう、邁進していきたいと考えています。

▲会派結成届の提出：左から中山議員、金野議員、真木、酒井議員

◇「会派」とは、市政について同じ考えや意見を持った議員が集まって作るグループのことです。戸田市議会を含むほとんどの地方議会（および国会）の運営は、会派を中心に進められています。
※会派を結成するメリットや議会における会派の役割などについては、次号以降のレポートで説明します。
◇戸田市議会の会派構成は、現在「志政クラブ７名、平成会６名、公明党５名、日本共産党４名、戸田の会４名」です。
◇「戸田の会」の会派ホームページを開設しました（URL は todanokai.com）。また、会派レポートの発行・配布を秋頃に予定しています。

初の一般質問を行いました。

この度の3月定例会において、初めての一般質問を行いました。
今回扱った4つの質問のうち、「教育」、「子育て」、および「安全」に関するものは、私が先般の選挙活動において政策として掲げていたものです。今後も、“戸田の未来をつくる”という信念のもと、議員の立場から有益な提言を行なっていきたいと考えています。

議場では、それぞれの政策について順を追って丁寧に説明することで、「聴いていてわかりやすい」質問になるよう心掛けました。また、執行部（市長、副市長、ならびに部長級職員）のご答弁やその場の状況に柔軟に対応できるよう、原稿を作らずに質問に臨みました。

丁々発止のやり取りとまではいきませんでしたが、私の政策への想いやそれまでの調査を活かした質問ができ、またその質問に対して執行部の方々からは配慮あるご答弁を頂き、概ね建設的なやり取りができたのではないかと思います。

◇「一般質問」とは、議員が年４回の定例会において「自由なテーマ」で行える質問のことで、議員にとっての晴れ舞台と云われることがあります。（もちろん、議案の審議や委員会での討議なども議員の大切な責務です。）
今回の３月定例会では、２６名の議員のうち１４名が一般質問を行いました。
◇このレポートには質問の要点のみを記載しています。質疑応答の詳細をお知りになりたい場合には、以下の方法があります。
・現場で見る →「傍聴」（戸田市役所８階傍聴席）**※次回は 6/11(火)～6/14(金)**
・映像で観る →「生中継映像」または「録画映像」（戸田市議会ホームページ）
・文字で読む →『会議録』（市役所３階市政情報室・６階議会図書室、市立図書館・分館、戸田市議会ホームページ）

質問１ 教育 新しい教育「２１世紀型スキル」の育成

これまでの日本の教育は、与えられた知識を覚えることに重きを置く“詰め込み型”の教育が中心でした。もちろん知識は大切です。しかし、社会に出てから本当の意味で役に立つのは、得た知識を活用する力、物事を批判的に考える力、まわりの人と協働しながら問題を解決する力です。

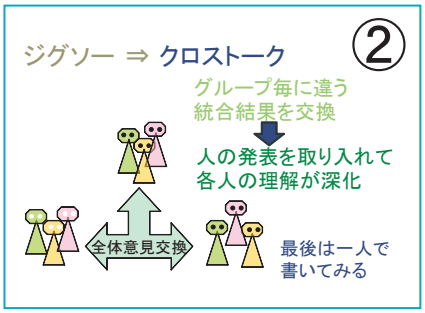
これらの能力は、ICT能力（コンピューターやネットを活用する力）などと合わせて「21世紀型スキル」と呼ばれ、国の新しい指導要領の中で強調されているほか、先進国の国際学力テスト（PISA）に新たな調査項目（「協調型問題解決能力」）として追加される予定となっています。

埼玉県では、東京大学などと連携して「21世紀型スキル」の育成に取り組んでおり、戸田市においてもすでに一部の学校で実践されています。

具体的には、「ジグソー法」という授業が教室で行なわれています。ジグソー法とは、「３人グループの生徒それぞれに別の知識を与え、各生徒は与えられた知識をまず理解し、その理解を互いに説明しあうことで知識を共有し、その後グループに与えられた共通の課題に３人で取り組む」というものです。生徒各人に明確な役割と責任が与えられるため活発な議論が行われ、それにより、「知識の定着が良くなった」、「考える力や発言する姿勢が身に付いた」、「意見を受け入れられることで生徒に自己肯定感が生まれた」などの報告があります。

質問では、**「ジグソー法」の市内小中学校での推進**を提言しました。

[答弁]市内先進校の成果を他校に紹介する、開発教材を共有する、教員研修に取り入れる
◇今後も、教育の質の向上につながる前向きな提言を行っていきます。



▲**ジグソー法の仕組み**：東京大学　大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）提供

「理数教育の強化」について、市長から力強いご答弁を頂きました！

３月定例会において、市長が今後１年間の市政運営の方針を述べる「施政方針」、ならびにその方針に対して各会派の代表者が質問する「総括質問」が行なわれます。

「戸田の会」では酒井議員が代表として総括質問を行い、その中で、私がかねてから政策として掲げている**理数教育の強化**を訴えていただきました。市長は、戸田市の理数教育強化の取り組みをいくつか述べられた後、「近い将来、目に見える形で成果が出ることを私も期待しています。」と力強く答弁されました。

質問２ 子育て 「青少年の居場所」の実施日拡大

近年の都市化が進む戸田市では、子どもの居場所が次第に少なくなってきています。実際にまちなかでは、車通りの多い路上やマンションの入り口、ボールの使えない公園でしか遊べない子どもを多く見かけます。また、部活動のない日に学校に居ることのできない中学生が、放課後を塾の控室で過ごしているとの話を聞きます。

待機児童解消など、幼児や未就学児への施策充実はもちろん大切ですが、一方で小中高生が安心して居られる場所を行政側が提供することも、近代化した「子育てのまち」にとっては欠くことのできない施策であると考えます。

現在、市内の福祉センターなどにおいて、「青少年の居場所」という、放課後の子どもたちが遊んだり勉強したりする部屋を開放する事業が、月に2、3日実施されています。しかし、実施日が少ないことなどから、子どもたちにはあまり認知されていません。そこで、まずは「青少年の居場所」の実施日拡大を求めました。

[答弁]実施日拡大に向けて各部局と調整する

また、「老人いこいの室」（福祉センターにある40畳程度の和室）を午後4時以降に子どもたちに開放することに対しても前向きな答弁を頂きました。

◇今後も「青少年の居場所」の発展を見守りながら、さらに市内各地に子どもや子育て世代の居場所が確保されるよう、尽力していきたと考えています。

▲「青少年の居場所」実施日告知のチラシ：小中学校で配布されるほか、それぞれの実施施設、および戸田市ホームページからも入手できます。

質問３ 安全 「地域別洪水ハザードマップ」の推進

荒川流域で「3日間に総雨量548ミリ」の大雨が降った場合、荒川堤防は決壊し、戸田市のほぼ全域が1m以上浸水（＝建物の1階が浸水）、場所によっては4m以上浸水（＝建物の2階天井まで浸水）し、しかもその浸水が3日間続くことが予想されています。

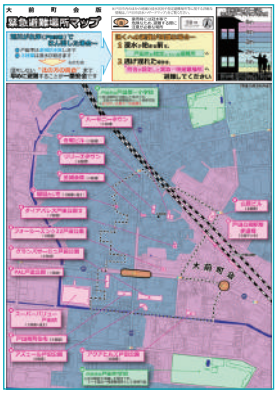
来たるべき事態に備え、46ある町会・自治会のうちの25町会は、NPOと共同で地域別の洪水ハザードマップを独自に作成しました。

一般質問では、①すべての町会・自治会でのハザードマップ作成、②ハザードマップの周知について伺いました。

[答弁]①平成２７年度までにすべてのハザードマップを作成する　②雨期の前に町会加入者へハザードマップを配布し、またホームページへの掲載も行う

避難先の優先順位は、(1)さいたま市などの海抜が高い土地、(2)戸田市の指定避難場所（非常食備蓄あり）、(3)町会が選定した緊急一時避難場所（非常食備蓄なし）です。

◇今後は、ハザードマップを活用した防災教育に注目していきたいと考えています。



▲地域別洪水ハザードマップ

◀**戸田市役所における洪水想定ＣＧ動画**：「戸田市災害に強いまちづくり推進ワークショップ」ホームページには、町会が作成した地域別ハザードマップだけでなく、全ての小中学校やJR３駅など市内２０ヶ所における洪水想定ＣＧ動画が掲載されています。危機感を養うのにとても役立ちますので、是非ご覧ください。

◀**電柱の洪水標識**：市内230箇所の電柱に、左の写真のような想定浸水深と指定避難場所を示した標識が設置されました（荒川流域の自治体では県内初！）。今年度も標識設置が予定されています。今後は、さらなる標識の設置を推進するとともに、標識の改良についても考えていきます。

質問４ 投票率向上 「選挙広報」の早期配布・ホームページ掲載

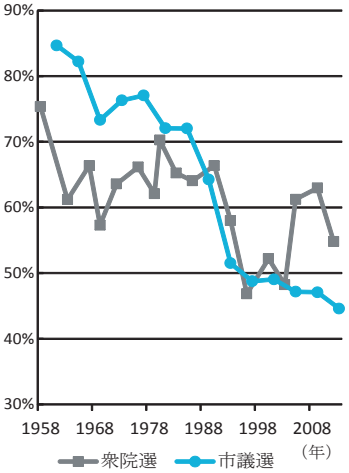
今年1月の市議会選挙の投票率は、過去最低の44.61％となりました。右のグラフの通り、衆議院選挙の投票率には一時的な上昇がたびたび見られるのに対し、市議会選挙の投票率はほぼ一方的に下がり続けています。

テレビや新聞、ネットなどで大きく取り上げられる衆院選は、選挙の争点（郵政解散など）によっては国民の関心を強く引くのに対し、市議選は、情報を得る手段が限られていること（および地域とのつながりの少ない住民が増加していること）が、選挙への無関心を招いているものと考えられます。

そのようななかで、選挙期間中にご家庭に配られる「選挙公報」（候補者全員の写真、経歴、政策が載ったもの）は市議会選挙における貴重な情報源です。また、期日前投票をする人の割合が増えており、投票者全体の2割近くになっている現状を踏まえると、①選挙公報の配布の早期化、②選挙公報のホームページへの掲載は、投票率の向上だけでなく投票の質の向上にも貢献するものと考えます。

[答弁]①選挙公報の早期配布に取り組む ②来年の市長選からホームページに掲載する

◇今後も、ネット選挙の動向などを踏まえながら、特に若い世代や新しい住民の投票率向上に取り組んでいきたいと考えています。



▲戸田市における衆議院議員総選挙と市議会議員選挙の投票率の推移

予算とは（その1）

　このコーナーでは毎回、普段なじみのない議会のしくみや議員の仕事について説明していきたいと思います。
　今回は、「予算」についてお話しします。
　日常生活で予算というと、例えば「新車購入の予算」のように、特定の使い道のために用意する「お金」を指すのに対し、市（および県や国）の「予算」とは、これから１年間のお金の入り方（歳入）とお金の使い方（歳出）の「計画」を意味します。今後１年間で、税金をどれだけ徴収するか、県や国からお金をどれだけ貰えるか、貯金をどれだけ切り崩すか、借金をどれだけするか、そしてそれらのお金をどのようなことにいくら使うか、などの詳細な計画がすべて予算には含まれています。予算の内容を決める権限を持っているのは市長です。ということは、予算には「市長の１年間の政策」が表されているとも言えます。
　市長の作った予算の案をチェックするのは市議会議員の役目です。毎年の３月定例会に提出される市長の予算案に対して半分以上の議員がOKを出せば、４月から１年間その予算が執行されることになります。
　今回開かれた平成25年3月定例会では、市長提出の予算案に対して議長を除いた25名の議員のうち21名の議員が賛成し、賛成多数で予算案が可決されました。以下に、可決された予算案の大まかな額を記します。

〈平成２５年度戸田市予算〉　一般会計　約４７４億円（昨年度より約９億円減少）　※歳入と歳出は同額です
　　特別会計　約２７０億円（昨年度より約２５億円増加）　※歳入と歳出は同額です

※「一般会計」、「特別会計」という言葉については、次号以降のレポートで説明します。

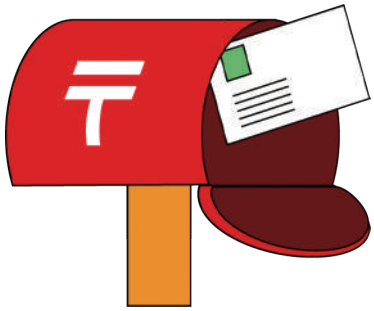
あわせてお読みください

　このレポートは私の議会報告が中心ですので、市政全般の情報が掲載された『広報戸田市』（毎月1日・15日に発行）、議会全体の報告が掲載された『とだ議会だより』（臨時会、定例会の後に年5回発行）を是非あわせてお読みください。冊子の入手方法は以下の通りです。

町会・自治会加入者　→ ご家庭へ配布
町会・自治会未加入者 → 「JRの3駅」、「郵便局などの金融機関」、「スーパーなどの大型店舗」、「市役所や福祉センターなどの公共施設」に設置された配架ラックから入手

※戸田市ホームページ、戸田市議会ホームページでの閲覧も可能です。

次号からのレポートはポストに届きません！



　「真木レポート」は、3月、6月、9月、12月定例会の後に**年4回**発行する予定です。
　駅前での配布は毎回行いますが、市内のみなさんへのお届け（全戸配布）は、私の政治資金の都合により**年に1回**のみとなってしまいます。
　毎号お読みになられたい方には郵送でお届けしますので、「ご住所とご氏名」を下記の後援会連絡先へメール、FAX、またはハガキにてお伝えください。
※頂いたお名前とご住所の情報は慎重にお取り扱いします。

◇真木大輔（まきだいすけ）・プロフィール

・昭和57年3月7日生まれ（31歳）、うお座A型
・茨城県日立市出身
・茨城県立水戸一高等学校卒業
・東京大学教養学部基礎科学科卒業
・予備校講師（物理科）
・現在、戸田市議会議員（1期目）、新曽在住
・戸田の会副代表、文教・建設常任委員 他
・座右の銘「和を以って貴しとなす」

◆真木レポート　第６号　【内部討議資料】

発行日：2013年5月
発行者：真木大輔後援会
住所：戸田市大字新曽1057 アーバンイケダ803
電話/FAX：048-234-8435
ホームページ：makidaisuke.jp
※HPにて日々の活動報告を行なっています(^^)/
メール：info@makidaisuke.jp
※市政へのご意見は、市役所と市議会議員に！

☆戸田の未来をつくるため、4大政策「教育」、「子育て」、「安全」、「行財政改革」を掲げています！